

保護者アンケートによる学校評価・集計表

五所川原第一高等学校

2020.4.8

NO	質問事項						割合				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
1	特色ある学校づくりに取り組んでいる	88	232	61	4	43	21%	54%	14%	1%	10%
2	五一高の教職員は教育目標達成に向けて一体になって取り組んでいる	80	231	56	14	47	19%	54%	13%	3%	11%
3	各コースに応じた学習指導がなされ生徒の進路希望に応えるものになっている	98	225	51	13	41	23%	53%	12%	3%	9%
4	生徒の習熟の度合いを考慮し、一人一人に即した指導がなされている	70	205	91	20	43	16%	48%	21%	5%	10%
5	校則を保護者によく説明(連絡)している	73	227	74	12	42	17%	53%	17%	3%	10%
6	生徒一人一人と面談し、不安や悩みなどについて相談に応じている	85	211	60	22	49	20%	49%	14%	5%	12%
7	服装・態度・言葉遣いなどの指導が適切になされている	96	240	46	11	35	22%	56%	11%	3%	8%
8	生徒の進路志望を早くから調査し、進路相談が行われている	161	208	36	7	16	38%	49%	8%	2%	3%
9	生徒の進路志望にあたり、保護者と連携した指導がなされている	128	198	52	21	30	30%	46%	12%	5%	7%
10	生徒の進路達成のために具体的な指導がなされている	112	204	58	14	40	26%	48%	14%	3%	9%
11	生徒の希望進路に応じた情報が提供されている	100	214	59	14	40	23%	50%	14%	3%	10%
12	生徒の事故・怪我・病気に対して適切な処置・対応がなされている	95	206	42	11	73	22%	48%	10%	3%	17%
13	生徒の健康に対して家庭との連携が取られている	96	195	49	13	74	22%	46%	11%	3%	18%
14	登・下校の安全と事故防止の指導が適切になされている	82	204	52	8	82	19%	48%	12%	2%	19%
15	ボランティア活動や各種体験学習を通して道徳性の育成が図られている	109	215	30	10	64	25%	50%	7%	2%	16%
16	学校行事や部活動を通して良好な人間関係が築けるように指導されている	89	212	62	14	51	21%	50%	14%	3%	12%
17	保護者の意見が、教育活動に反映されている	62	193	83	12	78	14%	45%	19%	3%	19%
18	家庭への配布資料等が確実に届くように工夫がなされている	59	202	67	9	89	14%	47%	16%	2%	21%
19	配布資料等で生徒のプライバシーを守る配慮がなされている	102	239	21	9	57	24%	56%	5%	2%	13%
20	学校納付金等について、わかりやすく説明されている	64	200	60	14	90	15%	47%	14%	3%	21%
21	本校のインターネット(QRコード)による情報発信が役に立っている	47	181	80	11	109	11%	42%	19%	3%	25%
22	PTAや学年集会等が、生徒の学校生活を理解するのに役立っている	67	173	31	5	152	16%	40%	7%	1%	36%
・評価の目安 A(よくあてはまる) B(ある程度あてはまる) C(余り当てはまらない) D(全く当てはまらない) E(よく分からない)											

<保護者アンケートに対する今後の対応について>

2020.4.8

アンケートの結果では、A（よくあてはまる）、B（ある程度あてはまる）の割合を合わせて70%を超えた項目が14項目あり、おおむね良い評価をいただいたものと受け止めております。特に、No.8「生徒の進路志望を早くから調査し、進路相談が行われている」の項目では、A、Bを合わせて87%にも達しており、今後も綿密な面談計画を立て、生徒の進路を早期に決定できるよう努力を継続したいと考えております。また、No.19「配布資料等で生徒のプライバシーを守る配慮がなされている」の項目でも、A、Bを合わせて80%に達していますので、個人情報の取り扱いなど今後も丁寧な資料作成に努めてまいります。

一方で、No.17「保護者の意見が教育活動に反映されている」では、C（あまりあてはまらない）、D（全く当てはまらない）の割合を合わせて22%あり、さらに、E（よくわからない、不明）の段階が36%もあるNo.22「PTAや学年集会等が、生徒の学校生活を理解するのに役立っている」、Eの段階が18%であるNo.13「生徒の事故・怪我・病気に対して適切な処置・対応がなされている」、と総合して、「生徒・保護者と学校との連携不足」を指摘するご意見が多くございました。

この点につきましては、真摯に受け止め、学校からの丁寧な説明、生徒や保護者の方との面談機会の増加を目指すと共に、私たち教職員の間でも念入りに情報共有を行うなど、学校、家庭、生徒が三位一体で物事に取り組める体制を構築するように努めます。そのためにも、私たち教職員は、適切な言葉遣いや模範的な行動に配慮し、生徒や保護者の方の声に丹念に傾聴するよう精進を重ねてまいります。

また、No.4「生徒の習熟の度合いを考慮し、一人一人に即した指導がなされている」では、C、Dの割合を合わせて26%あり、「授業や補講の更なる充実」を求める声も多くございました。

この点につきましては、ClassiやOffice365などの活用をより促し、ICT教育を充実させるなど、従来の学習に付加させる形で、新しい学びの機会を提供していきたいと考えております。もちろん、特別進学コースをはじめとして、放課後や長期休業中の補講を更に拡充し、来たる2021年度からの新大学入試に対応し得る学力の増強に努める所存です。そのためにも、私たち教職員は、日ごろから教材研究に勤しみ、工夫を凝らした授業を心掛け、熱心に心と身体の調和がとれた社会に有為な人材を育成するべく、実直に取り組んでまいります。

この他、生徒指導や進路指導、部活動、クラス編成、修学旅行等々について多くのご意見、ご要望をいただきました。また、本校の指導や教職員の接し方について厳しくご指摘をいただいたものもございました。これら全ての声について、私たち教職員は、真っ直ぐに受け止め、どのような改善の方策があるかを細部に至るまで検討する必要があるとございます。まずは、一つ一つの事柄を精査し、生徒指導や進路指導などの関係部署で会議、検討の機会を設け、職員会議等で評価・反省を実施してまいります。そして、時間はかかるとは思いますが、その改善策を実行に移せる工夫を講じてまいります。

今後ともより良い教育活動を展開し、地域から信頼される学校づくりをするためにも、数多くのご指摘、ご意見をこれからもお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。